

<白金標準、ノーザムプラチナの買収のうわさ・・・>



(出所：オアシス)

先週は、総合 PCE（個人消費支出）の発表や FRB 年次フォーラムである通称「ジャクソンホール」の開催を受けたウォーシュ FRB 議長の就任初の講演内容もあり、9 月の利上げ確率が 36%から 62.7%まで上昇するなど、「金利を生まない金」の下落が響き、一時 9646 円まで戻りを見せた白金標準先物は、一転して 9243 円まで下落している。

しかし世界のプラチナ生産量の 70%を占める南アフリカで、同国第 4 位のプラチナ鉱山であるノーザムプラチナを世界 1 位のヴァルテラ・プラチナ（旧アングロ・アメリカ・プラチナ）が M&A の動きを示唆する報道がなされている。特に南アフリカの生産は 2006 年の 530 万オンス（164.3 トン）のピークから 26%減少し、老朽化した鉱山、コストの上昇、長年の投資不足が車両排出抑制装置の供給に重くのしかかっている。そのため鉱山業者はプラチナ生産を維持するために統合や操業効率の向上に目を向けており、過去にも 2019 年 6 月にロンミン社がシバニースチールウォーターに買収された折は、白金価格は上昇を見せている。その動きは、金利要因で大幅な下落を行った金に比べ、M&A 要因が存在する白金標準先物は下げ渋っており、9250 円は底堅い値動きを続けると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル** は切り上げている。RCI では**短期**が下落し、**長期**が高値を維持している。ただ指数平滑移動平均線のレンジ内に日足が入り、目先下値模索には注意が必要に思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,175,000 円(2026 年 8 月 31 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 100,760 円(2026 年 8 月 31 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>